Peppolが輝かせる「主役」たち　～Peppol User community Mtg, “Hear voice from Users”～

2025年2月12日及び13日、デジタル庁は、Triplo M’s S.A.（菅原淳矢CEO、スイス）の協力を得て、Peppolユーザーによる交流イベント（「Peppoland Q Tokyo」）を開催しました。

会合の様子（2025年2月12日）

Federico Feggi (Mr.), CTO, Triplo M’s S.A.

同イベントでは、Triplo M’s　S.A.が提供するデジタルツール「QMS TRACE」（Peppol e-invoiceを送信する機能あり）の「使い心地」について、ユーザー同士で共有するとともに、新たなビジネス展開の中での活用方法などをについて意見交換が行われました。

意見交換では、「商品に対する自分たちの『思い』をデータにして、消費者にダイレクトに伝えられることは有意義」「正直、請求のデジタル化に最初は躊躇した」「取引先の皆様の協力もありPeppol e-invoiceによる請求処理の利便性をようやく実感できるようになった」といった様々な率直な意見がありました。